

Welch Allyn® OAE Data Manager

使用説明書



Advancing Frontline Care™

© 2017 Welch Allyn.無断転載・複製を禁じます。本製品を購入されたお客様は本書を Welch Allyn が提供する媒体から複製することができますが、本書に記載された本製品の使用目的のために内部で配布する場合があります。これ以外の目的で、Welch Allyn の書面による許可なく、本書の全体または一部を使用、複製、配布することは禁じられています。Welch Allyn は、本書に記載される指示、注意、警告、または使用目的に従って本製品を使用しなかったことで生じた可能性のあるけがや、本製品の違法または不適切な使用については、一切責任を負わないものとします。

特許情報については、www.welchallyn.com/patents をご覧ください。

Welch Allyn 社製品については、Welch Allyn テクニカルサポート(www.welchallyn.com/about/company/locations.htm) までお問い合わせください。

GSI は ISO 13485 の認証を取得している企業です。

GSI 8108699
DIR 80022524 Ver.A Revised 2017-09

本書は **REF** 901031 OAE HEARING SCREENER の使用説明書です。

Distributed by Welch Allyn, Inc.
4341 State Street Road
Skaneateles Falls, NY 13153-0220 USA



Grason-Stadler
10395 West 70th Street
Eden Prairie, MN 55344 USA

www.welchallyn.com

EC	REP
----	-----

Grason-Stadler
c/o DGS Diagnostics A/S
Audiometer Alle 1,
5500 Middelfart
Denmark

WelchAllyn®
Advancing Frontline Care™

目次

はじめに	1
適応症	1
記号・マーク	2
警告と注意について	3
警告と注意	3
患者情報の機密性に関する注意	3
設定	5
システム要件	5
ソフトウェアのインストール	6
スクリーナーの接続	6
ユーザーインターフェース	9
リボンバーの構成要素	10
[Patients (患者)] ペインと [Recent Results (最近の結果)] ペイン	14
[Result (結果)] と [Equipment (機器)] の概要ペイン	14
結果数値セクション	15
結果グラフセクション	16
データマネージャーの使用	17
一般的なユースケース — Data Manager	17
言語の選択	17
患者識別子の設定	18
転送機能の使用	18
患者の検査結果の表示	20
患者および臨床医のデータの管理	23
保存と印刷のオプション	27
表示のカスタマイズ	32
Auto Print	35
Auto Print のユーザーインターフェース	35
Save 250 (250 件保存) と L/R モード	37
プリンターのセットアップ	37
Auto Print の使用	37

はじめに

この使用説明書では、Welch Allyn OAE Data Manager（データマネージャー）の機能および操作方法について説明します。

データマネージャーは、Welch Allyn OAE Screener（スクリーナー）を補完するデータ管理ソフトウェアです。これを使用すると、患者の耳音響放射（OAE）検査データをデータマネージャーからコンピューターに転送し、OAE レポートを表示、アーカイブ、管理、印刷できるほか、患者名をスクリーナーに転送することもできます。Auto Print は、データ管理機能を使用せずに OAE 検査結果の印刷のみを素速く実行できるツールです。Auto Print は Data Manager の代わりとして使用するよう設計されています。

レポートはさまざまな電子形式または画像形式で保存し、電子医療記録（EMR）に添付することができます。

形式	オプション
電子	.pdf、.rtf
画像	.jpg、.tif、.gif、.png、.bmp、.emf、.wmf

適応症

Welch Allyn OAE Data Manager ソフトウェアは、Welch Allyn OAE Hearing Screener 装置から取得した OAE データの表示、アーカイブ、および報告に使用します。スクリーニングデータは Welch Allyn OAE Screener から取得されます。スクリーナーを PC に接続すると、OAE データは Data Manager ソフトウェアに転送されます。Data Manager ソフトウェアはまた、患者名を生成して装置に転送するためのツールにもなります。OAE データは聴覚評価の一部として、または新生児／幼児を対象とした小児聴覚スクリーニングプログラムの一部として使用されます。結果は聴覚訓練士、耳鼻咽喉科医、看護師、看護師長などにとって意義あるものとなります。

Welch Allyn OAE Screener で取得した検査結果は、Data Manager ソフトウェア内でのみ転送、表示、保存できます（装置が USB またはワイヤレス接続を介して PC に接続されている場合）。以前取得したデータは、スクリーナーに接続していなくても、評価のため表示することができます。スクリーナーから転送されるデータには、各耳からの誘発耳音響放射（TEOAE）または歪成分耳音響放射（DPOAE）データがあり、グラフおよび表形式で表示されます。データには両方またはいずれかの OAE スクリーニングデータが含まれます。スクリーニングデータには、Pass（合格）、Refer（照会）、Noise（ノイズ）、No Seal（密閉なし）などの結果が含まれます。

患者の人口統計情報および検査結果のデータは、将来の参照のためディレクトリに保存されるか、EMR プログラムへの転送のため電子形式に変換されます。Data Manager ソ

ソフトウェアは、PDF、RTF、JPEG、TIFF、GIF、PNG、BMP、EMF、WMF などの電子医療記録と互換性のある電子形式のレポートを生成します。

記号・マーク

本文中の記号


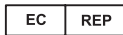






警告：本書では病気、けが、または死亡につながるおそれのある使用状況や使い方について「警告」メッセージを表示しています。



注意：本書では、本機、その他の財産等の破損、またはデータ紛失につながるおそれのある使用状況や使い方について「注意」メッセージを表示しています。マークは黄色と白黒の2種類です。

規制マーク

記号・マーク	説明	記号・マーク	説明
	シリアル番号		EU 正規代理店
	製造業者		再注文番号
	使用説明書 (DFU) をお読みください。DFU は本 Web サイトから入手できます。DFU の冊子版が必要な場合は Welch Allyn までお申し付けください。7 暦日以内にお届けいたします。		使用は有資格の医療専門家による場合、またはその指示による場合のみに限定

警告と注意について

警告と注意の文言は、Welch Allyn OAE Screener（スクリーナー）、包装、および梱装箱に記載されています。

警告と注意



警告 スクリーナーの充電には、必ず付属の充電器を使用してください。3極-2極変換アダプターをスクリーナーの電源とコンセントの間に接続すると、怪我やスクリーナーの破損が生じるおそれがあります。



警告 Welch Allyn の正規代理店以外によるスクリーナーの改造は一切許可されていません。スクリーナーを改造すると、患者やスタッフに危険が及ぶ可能性があります。



警告 スクリーナーは独立した検査機関が検証を行っており、電磁放射と電磁波耐性（EMC）の国際基準を満たすことが確認されています。このスクリーナーは、電磁妨害を引き起こしたりその影響を受けたりしやすい他の製品や装置（携帯電話を含む）の付近での設置や使用を避けることをお勧めします。スクリーナーを他の製品や装置に近接した場所で使用する場合は、この機器または付近の他の機器に障害が発生していないことを確認する必要があります。



警告 信頼性の高い耳音響放射測定を行うことを目指すプログラムは必ず、適切な訓練を受けた担当者が実施し監督する必要があります。

患者情報の機密性に関する注意

患者情報を保護することは、プロバイダーと患者との関係において不可欠です。組織で保管する患者の電子情報を保護するための方針および手順を策定しておくことは極めて重要です。以下の手順は、患者データの安全を確保するために役立ちます。

- 定期的にデータのバックアップを作成します。
- データのバックアップは安全な方法で保管します。
- データが盗まれた場合の乱用を防止するため、データは暗号化しておきます。
- すべてのユーザーに一意のコンピューターログイン情報を作成します。
- サードパーティネットワークを使用する際のデータマネージャーとの通信は、ネットワーク送信時に情報が取得された場合に備えてすべて暗号化するようにします。詳細については、サードパーティのユーザーマニュアルを参照してください。
- サードパーティネットワークのソフトウェアを使用する全ユーザーに、一意のソフトウェアログイン情報を作成します。これにより、データマネージャーのデータを更新

したり削除したりしたユーザーは誰でも追跡し特定することが可能になります。詳細については、サードパーティのユーザーマニュアルを参照してください。

設定

システム要件

下記に、以下の項目に関するシステム要件を記載します。

- コンピューター（最低限）
- オペレーティングシステム
- ソフトウェア

コンピューター要件

データマネージャーに必要な最低限のコンピューター要件は以下のとおりです。

- CPU : 1 GHz
- RAM : 512 MB
- ハードディスク : 2 GB
- USB ポート : スクリーナー、データマネージャー、およびプリンター（使用する場合）用に各 1 個
- 表示解像度 : 1024 x 768
- CD-ROM : CD からインストールする場合は必要
- ネットワーク接続 : ネットワーク上の場所からインストールする場合、またはネットワークプリンターで印刷する場合は必要
- インターネットブラウザ : Internet Explorer 6.0 以降および最新のサービスパック推奨

サポートされるオペレーティングシステム

- Microsoft Windows® 7.1 Professional、Windows® 8.1 Professional、Windows® 10

ソフトウェア要件

- Microsoft .NET Framework バージョン 4.0（インストールされていない場合はインストーラにバンドル済み）
- Adobe® Reader
- 装置の接続用の FTDI USB Driver

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールするには、[Data Manager Software] または [Auto Print] を選択する必要があります。完全なデータベース機能、詳細なレポートツール、統計分析、その他の機能が必要なユーザーは、Data Manager をインストールする必要があります。完全なデータベース機能は使用せず、検査データをプリントアウトするだけのユーザーは、Auto Print をインストールしてください。

新しくインストールやアップグレードを行う前には、必ずデータベースファイルのコピーをとり、安全な場所にそのファイルを保管してください。

CD からインストールする

1. コンピューターの CD ドライブに CD を挿入します。
2. [Windows] > [Computer (コンピューター)] > [CD Drive X (CD ドライブ X)] > [Start Application (アプリケーションの起動)] へ進みます。
3. [Start Application (アプリケーションの起動)] をダブルクリックします。
4. [Welch Allyn Data Manager] または [Welch Allyn Auto Print] を選択します。
5. [OK] をクリックします。
6. 表示される手順に従います。

スクリーナーの接続

スクリーナーをコンピューターに接続するには、3 種類の方法があります。

- USB 接続を利用してスクリーナーをコンピューターに接続する
- USB 接続を利用してスクリーナークレードルをコンピューターに接続する
- ワイヤレス接続を利用してスクリーナーをコンピューターに接続する

スクリーナーとコンピューターの USB 接続は最も一般的なセットアップ方法ですが、クレードルとコンピューターの USB 接続またはワイヤレス接続でもすべての機能を実行できます。

スクリーナーをコンピューターに接続する

標準の USB - マイクロ USB ケーブルを使用して、スクリーナーをコンピューターに接続します。

1. スクリーナーの電源を入れ、充電されていることを確認します。
2. マイクロ USB コネクタースクリーナーの底部にあるポートに差し込みます。
3. USB コネクタをコンピューターの USB ポートに差し込みます。
4. コンピューターの電源を入れ、Data Manager または Auto Print を起動します。

スクリーナーに「Waiting On PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。

5. データ転送、患者名の転送、または自動印刷を開始します。

スクリーナークレードルをコンピューターに接続する

標準の USB (A) - USB (B) ケーブルを使用して、スクリーナークレードルをコンピューターに接続します。

1. スクリーナーの電源を入れ、充電されていることを確認します。
2. USB (B) コネクタをスクリーナークレードル後部のポートに差し込みます。
データ転送のためにクレードルをコンセントに接続する必要はありません。
3. USB (A) コネクタをコンピューターの USB ポートに差し込みます。
4. スクリーナーをクレードル内に配置します。
5. コンピューターの電源を入れ、Data Manager または Auto Print を起動します。
スクリーナーに「Waiting On PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。
6. データ転送、患者名の転送、または自動印刷を開始します。

データ転送を行うには、クレードルとコンピューターの間で USB (A) - USB (B) ケーブルを使用する必要があります。クレードルのマイクロ USB ポートは、データ転送をサポートしていません。マイクロ USB または USB (B) ポートに電力が供給されているときは、クレードルを使用してスクリーナーの充電を行ってください。スクリーナー底部のマイクロ USB ポートは、データ転送と充電の両方に使用します。

ワイヤレス接続を利用してスクリーナーをコンピューターに接続する

注 ワイヤレス機能は、Auto Print では使用できません。

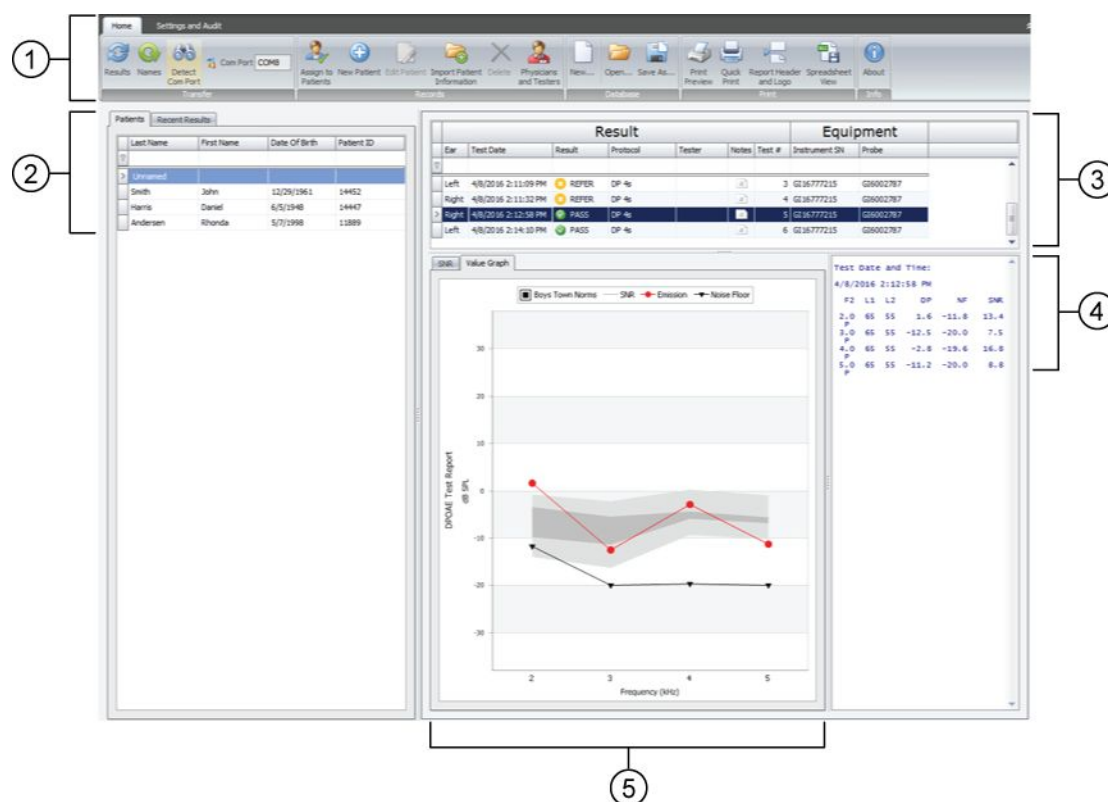
注 いずれの時点においても、スクリーナーとペアリングできる装置は 1 つのみです。

1. スクリーナーの電源を入れ、充電されていることを確認します。
2. コンピューターの電源を入れ、データマネージャーを起動します。
スクリーナーに「Waiting on PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。
3. スクリーナーとコンピューターの間で初めてワイヤレス接続を行う場合は、[Home (ホーム)] タブの [Transfer (転送)] セクションで **[Detect Com Port (COM ポートの検出)]** をクリックします。
4. スクリーナーがコンピューターとペアリングされることを確認します。
初回のデータ転送時にのみ、スクリーナーをコンピューターにペアリングする必要があります。
5. スクリーナーのメインメニューで、**上矢印**コントロールパネルボタンを押します。
ワイヤレスメニューが表示されます。
6. **左矢印**または**右矢印**コントロールパネルボタンを押して、データまたは患者名の転送を開始します。

ユーザーインターフェース

データマネージャーのユーザーインターフェースを利用すると、スクリーナーに保存した OAE データの表示、アーカイブ、報告を実行できます。スクリーナーは USB 接続でもワイヤレス接続でも、コンピューターで実行されているデータマネージャーに OAE データを転送できます。データマネージャーでは、患者名を生成してその名前をスクリーナーに転送することもできます。

メインウィンドウには以下の構成要素が含まれています。



項目 構成要素

1 リボンバー

5つのコントロールセクションがある [Home (ホーム)] タブ

2つのコントロールセクションがある [Settings and Audit (設定と監査)] タブ

項目	構成要素
2	[Patients (患者)] ペインと [Recent Results (最近の結果)] ペイン
	[Patients (患者)] タブ
	[Recent Results (最近の結果)] タブ
3	[Results (結果)] と [Equipment (機器)] の概要ペイン
4	結果数値セクション
5	結果グラフセクション
	[Value Graph (値グラフ)] タブ
	[SNR] タブ

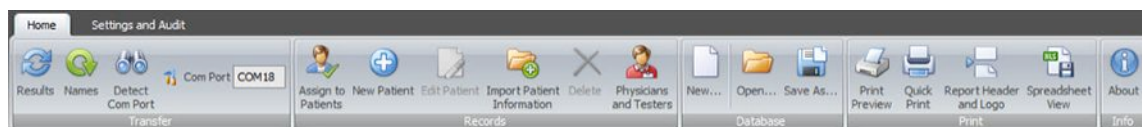
リボンバーの構成要素

ウィンドウ上部のリボンバーには2つのタブがあります。

- Home (ホーム)
- Settings and Audit (設定と監査)

[Home (ホーム)] タブ

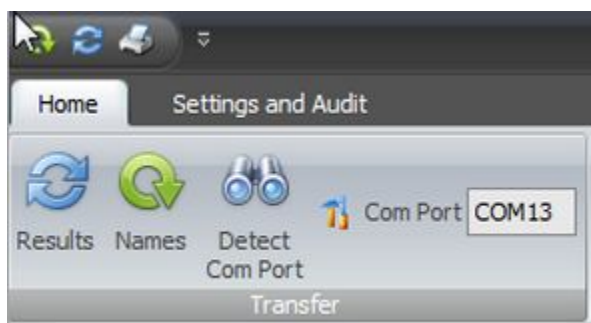
検査データの表示、患者の追加、患者名の転送などを含む大半の機能には、[Home (ホーム)] タブからアクセスできます。[Home (ホーム)] タブには5つのセクションがあります。



- Transfer (転送)
- Records (レコード)
- Database (データベース)
- Print (印刷)
- Info (情報)

〔Transfer（転送）〕 セクション

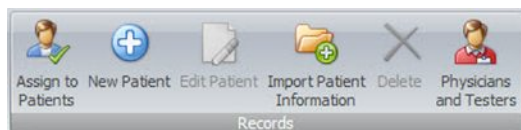
〔Transfer（転送）〕 セクションには 4 つの項目があります。



- Results（結果）
- Names（名前）
- Detect Com Port（COM ポートの検出）
- COM ポート番号

〔Records（レコード）〕 セクション

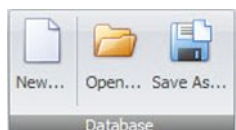
〔Records（レコード）〕 セクションには 6 つの項目があります。



- Assign to Patients（患者に割り当て）
- New Patient（新規患者）
- Edit Patient（患者の編集）
- Import Patient Information（患者情報のインポート）
 - 新規患者の人口統計情報は、スプレッドシートから *.xlsx、*.xls、または *.csv 形式でインポートできます。
- Delete（削除）
- Physicians and Testers（医師および検査担当者）

〔Database（データベース）〕 セクション

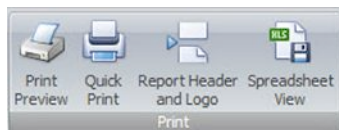
〔Database（データベース）〕 セクションには 3 つの構成要素があります。



- New（新規）
- Open（開く）
- Save As（名前を付けて保存）

〔Print (印刷)〕 セクション

〔Home (ホーム)〕 タブの 〔Print (印刷)〕 セクションには 4 つのオプションがあります。



- Print Preview (印刷プレビュー)
- Quick Print (クイック印刷)
- Report Header and Logo (レポートヘッダーとロゴ)
- Spreadsheet View (スプレッドシートビュー)

Print Preview (印刷プレビュー)

印刷プレビューにはさまざまな機能があります。



- Document (文書)
 - Open (開く)
 - Save (保存)
- Print (印刷)
 - Print (印刷)
 - Quick Print (クイック印刷)
- Page Setup (ページ設定)
 - Scale (拡大／縮小)
 - Size (寸法)
- Zoom (ズーム)
 - ポインター
 - Zoom Out (ズームアウト)
 - Zoom (ズーム) (倍率)
 - Zoom In (ズームイン)
- Export (エクスポート)
- Close (閉じる)

Quick Print (クイック印刷)

〔Quick Print (クイック印刷)〕 を選択すると、印刷プレビューをスキップして直接デフォルトのプリンターで印刷を実行できます。

Report Header and Logo (レポートヘッダーとロゴ)

〔Report Header and Logo (レポートヘッダーとロゴ)〕 の機能では、印刷レポート用にカスタムのヘッダーやロゴを設定できます。ヘッダーには診療所や病院の名前と住所のほか、施設のロゴも含めることができます。

Spreadsheet view (スプレッドシートビュー)

Spreadsheet view (スプレッドシートビュー) では、患者データを Excel 形式で表示できます。[Test Results (検査結果)] タブには、患者記録フィールドのすべての結果が表示されます。[Statistics (統計情報)] タブには、検査担当者による [Pass (合格)]、[Refer (照会)]、[Other (その他)] の検査結果の割合が表示されます。スプレッドシートを保存すれば、完全な Excel の機能を利用できます。

データマネージャー情報

データマネージャーに関する情報は、[Home (ホーム)] タブの [Info (情報)] セクションで確認できます。



[About Welch Allyn Data Manager (Welch Allyn Data Managerについて)] ウィンドウには、以下の情報が表示されます。

- ソフトウェアバージョン
- データベースの場所
- ログファイルの場所
- 詳細情報を表示する [About Boys Town Norms (Boys Town Norms について)] ボタン

[Settings and Audit (設定と監査)] タブ

[Settings and Audit (設定と監査)] タブでは、スクリーナーに表示される情報（言語を含む）の外観を制御できるほか、スクリーナーに保存された検査結果に対して行われた個々の変更の内容も追跡できます。[Settings and Audit (設定と監査)] タブには 2 つのセクションがあります。



- Settings (設定)
 - Patient Identifiers (患者識別子)
 - Language (言語)
- Audit (監査)
 - Ear Changes (耳の変更)
 - Test Changes (検査の変更)

患者識別子

Patient Identifiers (患者識別子) の機能では、患者名の転送機能を使用する際にスクリーナーに表示される 2 つのフィールドを決定します。最初のフィールドのデフォルト設定は [Last Name (氏名 (氏のみ))] で、2 番目のフィールドのデフォルト設定は [First Name (氏名 (名のみ))] です。いずれかまたは両方について別の設定を選択するには、**[Patient Identifiers (患者識別子)]** をクリックします。

Language (言語)

Language (言語) 機能では、次回データマネージャーを起動したときに表示される言語を選択できます。デフォルトの言語は英語（米国）です。

ドロップダウンメニューから任意の言語を選択すると、Data Manager を別の言語で表示することができます。言語の変更は、次回 Data Manager を起動したときに有効になります。一部のテキストは英語のみで表示されます。

監査機能

監査機能を使用すると、当初検査結果または検査結果に割り当てられた患者名で特定されていた耳を変更した検査記録を確認できます。

[Patients (患者)] ペインと [Recent Results (最近の結果)] ペイン

[Patients (患者)] タブ

[Patients (患者)] タブには、データベースマネージャーに転送されたすべての患者情報の累積リストが表示されます。検査の前にデータマネージャーで患者名を作成しなかった場合、その患者の検査結果は転送されると「Unnamed (不特定)」の欄に表示されます。「Unnamed (不特定)」の検査結果を特定の患者に転送する方法については、「Assign to Patients (患者に割り当て)」の項を参照してください。

Last Name	First Name	Date Of Birth	Patient ID
Unnamed			
Smith	John	12/29/1961	14452
Harris	Daniel	6/5/1948	14447
Andersen	Rhonda	5/7/1998	11889

[Recent Results (最近の結果)] タブ

[Recent Results (最近の結果)] タブは、[Patients (患者)] タブと同様に設定します。このタブには、最近スクリーナーからデータベースマネージャーに転送されたすべての患者と検査の一覧が表示されます。レコードは患者の姓または ID 番号を使用して検索できます。

[Result (結果)] と [Equipment (機器)] の概要ペイン

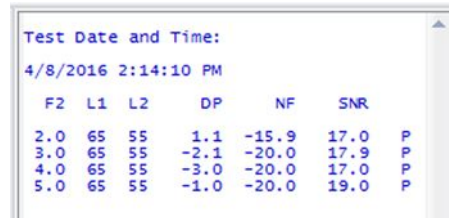
Result							Equipment	
Ear	Test Date	Result	Protocol	Tester	Notes	Test #	Instrument SN	Probe
Left	4/8/2016 2:11:09 PM	REPER	DP 4e			3	G136777215	G06002787
Right	4/8/2016 2:11:32 PM	REPER	DP 4e			4	G136777215	G06002787
Right	4/8/2016 2:12:58 PM	PASS	DP 4e			5	G136777215	G06002787
Left	4/8/2016 2:14:30 PM	PASS	DP 4e			6	G136777215	G06002787

[Result (結果)] セクションには、特定の患者の検査結果の累積リストが表示されます。この情報は、[Patients (患者)] タブで患者を選択すると表示されます。

[Equipment (機器)] セクションには、スクリーニングに使用されたスクリーナーとプローブのシリアル番号が表示されます。また、ソフトウェアのバージョン番号も表示されます。

結果数値セクション

結果数値セクションには、F2 周波数、L1 と L2、DP、NF、SNR、そして結果を含む、特定の検査に関する完全な検査情報が表示されます。



Test Date and Time:						
4/8/2016 2:14:10 PM						
F2	L1	L2	DP	NF	SNR	
2.0	65	55	1.1	-15.9	17.0	P
3.0	65	55	-2.1	-20.0	17.9	P
4.0	65	55	-3.0	-20.0	17.0	P
5.0	65	55	-1.0	-20.0	19.0	P

結果グラフセクション

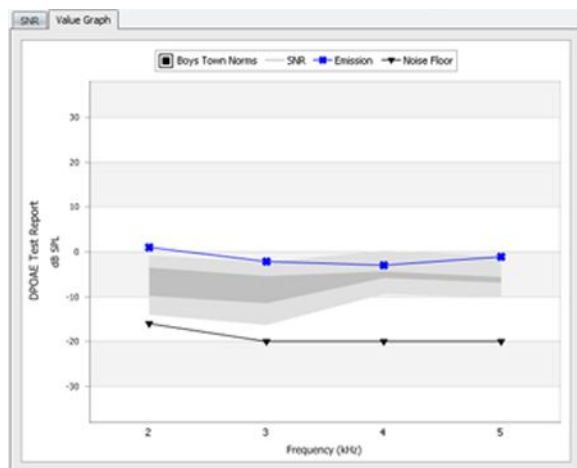
結果グラフのセクションには、選択した検査の結果がグラフィック形式で表示されます。

結果グラフのセクションには 2 つのタブがあります。

- Value Graph (値グラフ)
- SNR

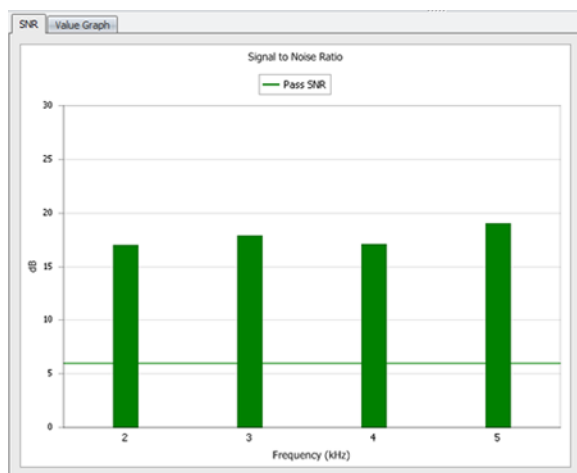
Value Graph (値グラフ)

[Value Graph (値グラフ)] タブには、OAE 検査データが折れ線グラフ形式で表示され、検査の周波数帯域全体にわたる放射およびノイズフロア (NF) の応答振幅が dB SPL 単位で表示されます。耳のデータはカラーで記号コード化されており、赤い円は右耳、青い X は左耳を表します。デフォルトのスクリーニング棒グラフでは、緑のバーが [PASS (合格)] を、オレンジのバーが [REFER (照会)] を表します。グラフの上部近くにあるボックスでは、Boys Town Norms の表示を制御できます。



SNR グラフ

[SNR] タブには、各検査周波数の信号対雑音比が棒グラフ形式で表示されます。



データマネージャーの使用

一般的なユースケース — Data Manager

OAE Hearing Screener を OAE Data Manager とともに使用する場合、ワークフローは以下の 2 つのユースケースのうちいずれかのパターンに従うことになります。

ユースケース 1：患者名をスクリーナーに、データをデータマネージャーに転送する

1. 始業時に患者名をスクリーナーに転送する
2. 患者の検査を行う
3. データをデータマネージャーのデータベースに転送する
4. 検査の結果を確認し、印刷する

ユースケース 2：患者の検査を行い、データをデータマネージャーに転送し、結果を患者記録に割り当てる

1. 「250 Test (検査 250 件)」モードを使用して患者の検査を行い、自動的に各検査に番号を付ける
2. 検査番号、患者名、および各検査時に検査した耳を手動で記録する
3. データをデータマネージャーのデータベースに転送する
4. 名前のない番号付きの検査結果を、データマネージャーの適切な患者記録に割り当てる
5. 検査の結果を確認し、注釈をつけ、印刷する

このセクションで個々のユースケースに該当する手順を参照し、説明に従ってください。

言語の選択

1. [Settings and Audit (設定と監査)] タブで、**[言語]**フィールドをクリックします。
ドロップダウンメニューに、選択可能な言語が表示されます。
2. ドロップダウンメニューから目的の言語を選択します。
選択した言語が [Language (言語)] フィールドに表示され、確認ダイアログが開いて、新しい言語はデータマネージャーを再起動した時に有効になると表示されます。
3. **[OK]** をクリックしてダイアログを閉じます。
次回データマネージャーを起動すると、選択した言語が表示されます。

患者識別子の設定

1. [Settings and Audit (設定と監査)] タブで、[**Patient Identifiers (患者識別子)**] をクリックします。
[Set Patient Identifiers (患者識別子の設定)] ウィンドウが開き、各ペインに [Last Name (氏名 (氏のみ))]、[First Name (氏名 (名のみ))]、[Patient ID (患者 ID)]、[Date of Birth (生年月日)] という 4 つの識別子オプションが表示されます。
2. [First Identifier (1 番目の識別子)] セクションで、スクリーナーに表示するフィールドを選択します。[First Identifier (1 番目の識別子)] は、患者固有の識別子でなければなりません。
3. [Second Identifier (2 番目の識別子)] ボックスで、スクリーナーに表示するフィールドを選択します。
4. [**OK**] をクリックします。

スクリーナーでは 2 つのフィールドを使用して患者が識別されます。患者を選択するためのスクロール中は、両方のフィールドがスクリーナーに表示されます。コントロールパネルの上部ボタンを押して患者を選択すると、最初のフィールドのみが表示されたままになるため、検査時はそれを使用して患者を識別します。

転送機能の使用

COM ポートの検出

1. スクリーナーの電源を入れ、ワイヤレス接続またはマイクロ USB コネクタを利用してスクリーナーをコンピューターに接続します。
2. スクリーナーを初めて接続する場合、または別のスクリーナー装置に接続する場合は、[**Detect Com Port (COM ポートの検出)**] をクリックします。

患者名をスクリーナーに転送する

1. スクリーナーの電源を入れます。
2. ワイヤレス接続またはマイクロ USB コネクタを利用して、スクリーナーをコンピューターに接続します。
データマネージャーはデフォルトで以前使用された COM ポート番号を使用し、自動的にそのポートでスクリーナーが検出されます。画面に「Waiting on PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。スクリーナーを初めてコンピューターに接続する場合は、“「Detect Com Port (COM ポートの検出)」”を参照してください。
3. [Home (ホーム)] タブで、[**Names (名前)**] アイコンをクリックします。
[Store Names to Instrument (装置に名前を保存する)] ウィンドウが表示されます。
4. 必要に応じて、[**Clear List (リストの消去)**] をクリックして以前転送された患者名を消去してから、すぐにスクリーナーのコントロールパネルの上矢印ボタンを押すと、データ転送のためのワイヤレスメニューが表示されます。
5. スクリーナーのコントロールパネルの左矢印または右矢印ボタンを押して、データを転送します。

- 必要があれば、**Clear Instrument (装置の消去)** をクリックして、スクリーナーに保存されているすべての患者名と検査記録を削除します。

患者名はアルファベット順に装置に表示されます。



- 患者名を **Patients list (患者リスト)** から **Store Names to Instrument (装置に名前を保存する)** 画面にドラッグして、スクリーナーリストを作成します。



- 患者名をスクリーナーに転送するには、**Store Names (名前の保存)** をクリックして、すぐにスクリーナーのコントロールパネルの上矢印ボタンを押すと、データ転送のためのワイヤレスメニューが表示されます。
名前がデータベースからスクリーナーに転送されます。
- スクリーナーのコントロールパネルの左矢印または右矢印ボタンを押して、データを転送します。

スクリーナーからデータマネージャーに検査結果を転送する

- USB ケーブルコネクタをコンピューターの使用可能な USB ポート に差し込み、マイクロ USB ケーブルコネクタをスクリーナー底部のポートに差し込んで、コンピューターをスクリーナーに接続します。
スクリーナーに「Waiting for PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示され、コンピューターとの接続が検出されて、その後アクションまたはデータマネージャーとの通信が待機されます。
- 接続が検出されない場合は、**Detect Com Port (COM ポートの検出)** をクリックして、COM ポートとの接続を確立します。
- [結果]** アイコンをクリックして、検査結果を転送します。
- すべてのデータが転送されたら、**[OK]** をクリックします。
- [Recent Results (最近の結果)]** タブに移動し、**[Unnamed (不特定)]** の行をクリックして、転送済みの名前のない患者の検査結果をすべて表示します。

6. [Home (ホーム)] タブの [Records (レコード)] セクションで、**[New Patient (新規患者)]** をクリックして、検査済みの名前のない患者に患者名と人口統計情報を追加します。
7. [Home (ホーム)] タブの [Records (レコード)] セクションで、**[Assign to Patients (患者に割り当て)]** をクリックし、ウィンドウ左側にある名前のない検査結果をすべて、ウィンドウ右側の適切な患者名にドラッグします。
8. **[OK]** をクリックします。

ワイヤレス接続を使用してスクリーナーからデータマネージャーに結果を転送する

1. スクリーナーをコンピューターとペアリングして、コンピューターをスクリーナーに接続します。
スクリーナーに「Waiting for PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示され、コンピューターとの接続が検出されて、その後アクションまたはデータマネージャーとの通信が待機されます。
2. 接続が検出されない場合は、**[Detect Com Port (COM ポートの検出)]** をクリックして、COM ポートとの接続を確立します。
3. データマネージャーの**[結果]**アイコンをクリックして、すぐにスクリーナーのコントロールパネルの上矢印ボタンを押すと、データ転送のためのワイヤレスメニューが表示されます。
4. スクリーナーのコントロールパネルの左矢印または右矢印ボタンを押して、データを転送します。
5. すべてのデータが転送されたら、**[OK]** をクリックします。
6. [Recent Results (最近の結果)] タブに移動し、**[Unnamed (不特定)]** の行をクリックして、転送済みの名前のない患者の検査結果をすべて表示します。
7. [Home (ホーム)] タブの [Records (レコード)] セクションで、**[New Patient (新規患者)]** をクリックして、検査済みの名前のない患者に患者名と人口統計情報を追加します。
8. [Home (ホーム)] タブの [Records (レコード)] セクションで、**[Assign to Patients (患者に割り当て)]** をクリックし、ウィンドウ左側にある名前のない検査結果をすべて、ウィンドウ右側の適切な患者名にドラッグします。
9. **[OK]** をクリックします。

患者の検査結果の表示

患者の選択

[Patients (患者)] タブをクリックし、患者の名前が表示されている行をクリックします。

その患者の検査結果が、メインウィンドウの [Result (結果)] と [Equipment (機器)] の概要ペインに表示されます。[Result (結果)] セクションで特定の検査結果を選択すると、検査結果の詳細がメインウィンドウの [Numeric (数値)] および [Graph (グラフ)] セクションに表示されます。選択項目をハイライト表示すると、周囲の詳細情報と区別しやすくなります。

Auto Filter（自動フィルター）を使用して患者記録を検索する

〔Patients（患者）〕タブの患者リストの一番上には、空白の行があります。この行を使用して、特定の患者を検索できます。



Last Name	First Name	Date Of Birth	Patient ID
Unnamed			
Clapton	Jashua	6/10/1989	1222185AA
Hiley	Madison	9/4/1956	2235481
Johnsen	Robert	5/18/2000	224574885
Nelson	Janis	10/16/2013	2354881
Smyth	Sophia	8/20/2003	33598
Nebley	Caren	12/5/1984	345334
Charter	Jeramie	8/5/2012	355557951

1. 〔**Last Name（氏名（氏のみ））**〕、〔**Date of Birth（生年月日）**〕、または〔**Patient Id（患者 ID）**〕をそれぞれの空のフィールドに入力して、キーボードの **Enter** を押します。
条件に一致するすべての患者名が表示されます。
2. 左下隅の「x」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、患者名リストに戻ります。

患者リストの並べ替え

1. 〔**Patients（患者）**〕タブをクリックし、リストの並べ替え基準とする列のヘッダーをクリックします。
〔Last Name（氏名（氏のみ））〕で並べ替えると、リストは A～Z の順序で表示されます。〔Date of Birth（生年月日）〕で並べ替えると、リストは最も早い誕生年から順に表示されます。〔Patient ID（患者 ID）〕で並べ替えると、リストは一番小さい番号から順に表示されます。
2. 目的の列を再度クリックすると、並べ替え順序が逆になります。

〔Result（結果）〕セクションの並べ替え

〔Result（結果）〕セクションは、〔Test #（検査番号）〕、〔Ear（耳）〕、〔Test Date（検査日）〕、〔Avg Time（平均時間）〕、〔Outcome（結果）〕、〔Protocol（プロトコル）〕、〔Test Type（検査タイプ）〕、〔Tester（検査担当者）〕、〔Notes（メモ）〕の各項目を基準に並べ替えることができます。

1. リストの並べ替えの基準とする列ヘッダーをクリックします。
検査結果が、並べ替えのために選択した列を基準とする順序で表示されます。
2. 目的の列を再度クリックすると、並べ替え順序が逆になります。

Auto Filter（自動フィルター）を使用して患者名を検索する

〔Result（結果）〕セクションの上部には空の行があります。この行を使用して、特定の結果属性を検索できます。

1. 選択した列にパラメータを入力して、**Enter** を押します。
その列の基準に一致するすべての検査が表示されます。

2. 左下隅の「x」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、検査結果の詳細に戻ります。

スプレッドシートビューでの表示

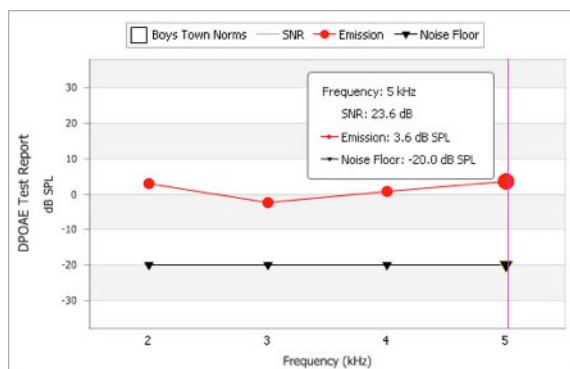
[Print (印刷)] セクションの [Home (ホーム)] タブで、[**Spreadsheet View** (スプレッドシートビュー)] をクリックして、Excel 形式のデータにアクセスします。

値グラフの詳細の表示

[Value Graph (値グラフ)] タブには、OAE 検査データが折れ線グラフ形式で表示され、検査の周波数帯域全体にわたる放射およびノイズフロア (NF) の応答振幅が dB SPL 単位で表示されます。耳のデータはカラーで記号コード化されており、赤い円は右耳、青い X は左耳を表します。デフォルトのスクリーニング棒グラフでは、緑のバーが [PASS (合格)] を、オレンジのバーが [REFER (照会)] を表します。

マウスを個々のデータポイントに重ね合わせると、特定の周波数での詳細が表示されます。

拡大された円および三角形の記号は、選択した応答を示します。



Boys Town Norms の表示

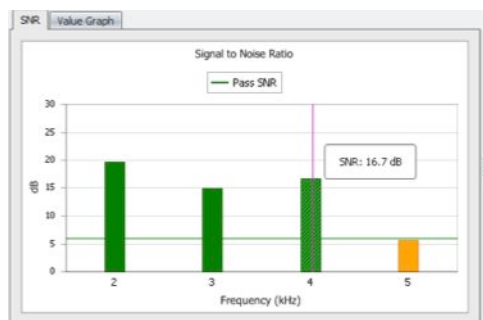
1. Boys Town Norms は、グラフィック表示で [Boys Town Norms] ボックスをクリックすると表示できます。
2. Boys Town Norms を非表示にするには、もう一度 [Boys Town Norms] ボックスをクリックします。

Boys Town Norms の詳細については、[About (バージョン情報)] ボックスの [Home (ホーム)] タブで確認できます。

SNR グラフの詳細の表示

[SNR] タブには、各検査周波数の信号対雑音比が棒グラフ形式で表示されます。

マウスを個々のデータポイントに重ね合わせると、特定の周波数での詳細が表示されます。



文書を開く

このコントロールを使用して、以前保存した検査結果を開きます。

1. [Print (印刷)] セクションの [Home (ホーム)] タブで、[Print Preview (印刷プレビュー)] をクリックします。
[Print Preview (印刷プレビュー)] ウィンドウが開きます。
2. [Open (開く)] をクリックします。
[Open (開く)] ダイアログが表示されます。
3. 目的の検査結果文書があるディレクトリの場所を指定します。
4. 文書名をダブルクリックします。
検査結果の文書がデータマネージャーで開きます。

データベースを開く

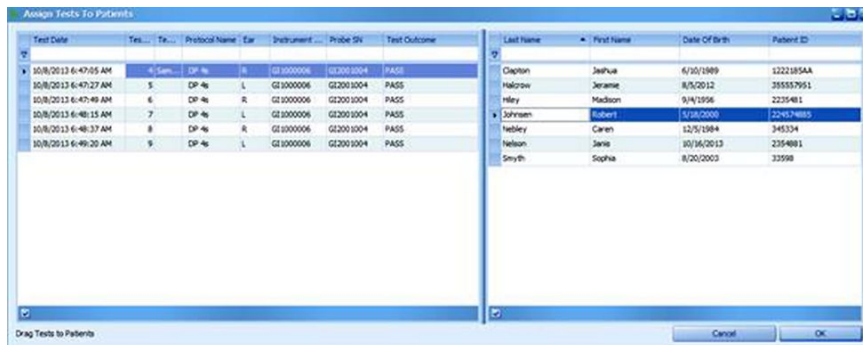
1. [Database (データベース)] セクションの [Home (ホーム)] タブで、[Open (開く)] をクリックします。
コンピューターディレクトリが表示されます。
2. 目的のデータベースを指定して、[Open (開く)] をクリックします。
ダイアログボックスが開き、新しいスクリーナーデータベースは次回データマネージャーを開いたときに使用されると表示されます。以前のデータベースは、元の場所に保存されます。データマネージャーが自動的に閉じます。
3. データマネージャーを再起動し、選択したデータベースを表示します。

患者および臨床医のデータの管理

不特定の検査を患者に割り当てる

不特定の検査を患者名に割り当てるには、以下の手順に従います。検査前に患者名がスクリーナーに転送されていなかった場合、転送された検査結果は「Unnamed (不特定)」の欄に表示されます。

1. データベースに新しい患者名を追加します（「新規患者の追加」を参照）。
2. [Assign to Patients (患者に割り当て)] をクリックします。
3. 不特定の検査結果を、左側のリストから右側の選択した患者名にドラッグします。複数の検査結果を選択するには、**Ctrl** キーを押したまま各検査結果を選択します。



確認ウィンドウが開き、患者名と転送する検査数が表示されます。

4. 情報が正しければ、**[OK]** をクリックします。
5. 転送が完了したら、**[OK]** をクリックします。

新規患者の追加

1. **[Records (レコード)]** セクションの **[Home (ホーム)]** タブで、**[New Patient (新規患者)]** をクリックします。

[New Patient Information (新規患者の情報)] 画面が表示されます。

2. 患者の人口統計情報を入力します。
3. 患者固有の履歴を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

新しい患者がデータベースに追加されます。

患者記録の編集

1. **[Patients (患者)]** タブで患者名を選択します。
2. **[Edit Patient (患者の編集)]** をクリックします。

患者記録が表示されます。

3. 患者情報を追加または修正します。
4. **[OK]** をクリックします。

患者情報のインポート

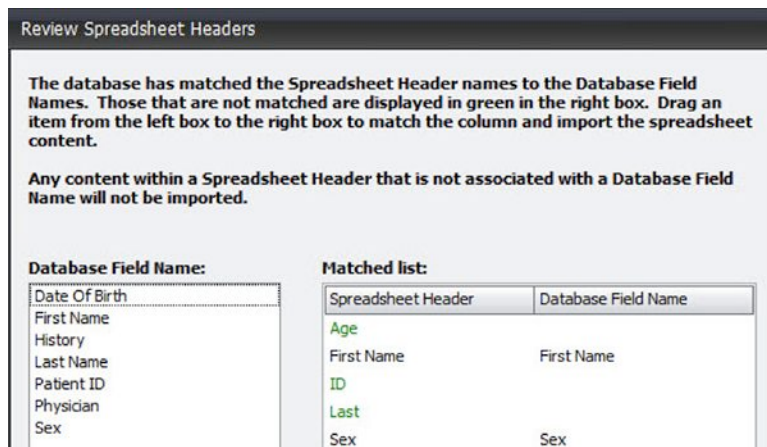
新規患者の人口統計情報は、スプレッドシートから *.xlsx、*.xls、または *.csv 形式でインポートできます。

1. **[Import Patient Information (患者情報のインポート)]** アイコンをクリックします。

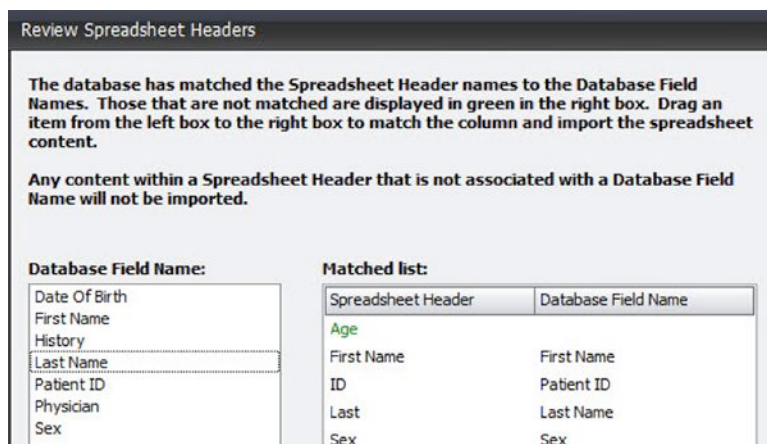
[Choose file containing patient to import (インポートする患者を含むファイルを選択する)] ウィンドウが開きます。

2. 患者情報が含まれるスプレッドシートファイルを探し、**[Open (開く)]** をクリックします。
3. 使用可能なデータマネージャーのフィールド名とスプレッドシートのヘッダーとを比較した照合リストを確認します。緑色で表示されたヘッダーは、どの使用可能なフィールド名とも一致していません。下の例では、**[Age]**、**[First]**、**[ID]**、および

び [Last] が、どの [Database Field Names (データベースフィールド名)] とも一致していません。



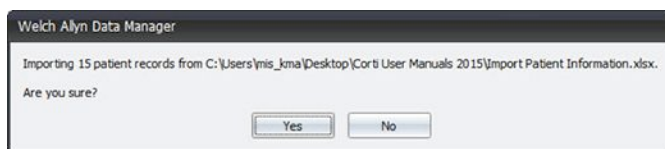
4. 適切なデータベースフィールド名を、該当または一致するスプレッドシートヘッダーにドラッグアンドドロップします。ヘッダーは黒字で表示され、一致すると [Database Field Name (データベースフィールド名)] が表示されます。下の例では、[First] が [First Name (氏名 (名のみ))]、[ID] が [Patient Id (患者 ID)]、[Last] が [Last Name (氏名 (氏のみ))] と一致しています。この例では [Age] はどのフィールド名とも一致しておらず、緑色のままになっています。



5. 選択したフィールドがすべて一致したら、[OK] をクリックしてインポートを開始します。
6. 一致しないフィールドがある場合は、下の図のように、[OK] をクリックして一致しないフィールドを無視し、そのデータを表示せずにインポートするというメッセージが表示されます。インポートを中止する場合は、[Cancel (キャンセル)] をクリックします。



7. インポートする患者名の数の確認が、下の図のように表示されます。インポートを完了するには、[はい] をクリックします。インポートを中止するには、[いいえ] をクリックします。



新たにインポートされた患者名は、[Patients（患者）] タブの下部に表示されます。

患者名または検査の削除

1. [Patients（患者）] タブで、削除する患者名または具体的な検査を選択します。
2. **[Delete（削除）]** をクリックします。
削除する具体的な患者名または検査を表示した警告ウィンドウが開きます。
3. 患者名および検査結果をデータベースから永久的に削除する場合は、**[Yes（はい）]** をクリックします。
4. 削除をキャンセルする場合は、**[No（いいえ）]** をクリックします。

医師および検査担当者の氏名の追加

[Records（レコード）] セクションの [New Patient（新規患者）] 機能では、患者記録に割り当てることができる照会医師および検査担当者の一覧を作成できます。

1. **[Home（ホーム）]** タブをクリックし、[Records（レコード）] セクションの **[Physicians and Testers（医師および検査担当者）]** をクリックします。



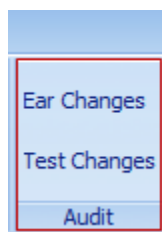
[Physicians and Testers（医師および検査担当者）] 画面が表示されます。



2. 画面の下部で、[Physician Info（医師情報）] 列の下の「+」をクリックして医師リストに医師を追加するか、[Tester Name（検査担当者名）] 列の下の「+」をクリックして検査担当者名を追加します。
3. 氏名はデータベースおよびレポートに表示される通りに入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

監査機能の使用

[Audit (監査)] セクションには 2 つの項目があります。



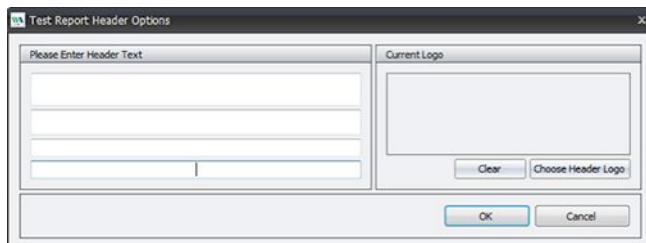
- Ear Changes (耳の変更)
 - Test Changes (検査の変更)
1. [Audit (監査)] セクションの [Settings and Audit (設定と監査)] タブで、[**Ear Changes (耳の変更)**] をクリックすると、[Test Ear (検査対象の耳)] が変更された検査記録を確認できます。
 2. [Audit (監査)] セクションの [Settings and Audit (設定と監査)] タブで、[**Test Changes (検査の変更)**] をクリックすると、ある患者名から別の患者名に再割り当てされた検査結果を患者ごとに確認できます。

保存と印刷のオプション

レポートヘッダーとロゴの作成

1. [Print (印刷)] セクションの [Home (ホーム)] タブで、[**Report Header and Logo (レポートヘッダーとロゴ)**] をクリックします。

[Test Report Header Options (検査レポートヘッダーのオプション)] ダイアログボックスが表示されます。



2. 左ペインに、組織の情報（名前、所在地、臨床医、その他）を入力します。
 3. 右ペインで、[**Choose Header Logo (ヘッダーロゴの選択)**] をクリックします。
 4. ログofileを選択して、[**Open (開く)**] をクリックします。
- [Current Logo (現在のロゴ)] ウィンドウにロゴが表示されます。
5. [**OK**] をクリックします。

レポートヘッダーとロゴはすべての印刷レポートに表示されます。

新しいスクリーナーデータベースの作成

1. [Database (データベース)] セクションの [Home (ホーム)] タブで、[**New (新規)**] をクリックします。

2. 新しいデータベースファイルに名前を付けて、選択したコンピューターディレクトリに保存します。
3. **[OK]** をクリックします。
ダイアログボックスが開き、新しいスクリーナーデータベースは次回データマネージャーを開いたときに使用されると表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。
以前のデータベースは自動的にアーカイブされて閉じます。データマネージャーが自動的に閉じます。
5. データマネージャーを起動し、新しいデータベースを表示します。
新しいデータベースは空で、データ転送の準備ができた状態になっています。

データベースの保存

覚えやすく守りやすいデータベースファイルの命名規則を作成してください。これは患者記録を効率よく見つけるために役立ちます。デフォルトのデータベース名は WA_patient.mdb で、これは (C:) Users > XXX に配置されています。デフォルトのデータベースは、コンピューター上の任意の場所に保存して名前を変更することをお勧めします。

1. **[Database (データベース)]** セクションの **[Home (ホーム)]** タブで、**[Save As (名前を付けて保存)]** をクリックします。
2. 任意のコンピューターディレクトリの場所を指定し、データベースファイルに名前を付けます。
確認のメッセージが表示されます。
3. **[OK]** をクリックします。
データベースファイルがコンピューターディレクトリの場所に保存されます。

レポートの保存

このコントロールを使用して、検査結果を保存します。

注 覚えやすく守りやすいデータベースファイルの命名規則を作成してください。これは患者記録を効率よく見つけるために役立ちます。

1. 検査レポートが表示された状態で、**[Home (ホーム)]** タブの **[Print Preview (印刷プレビュー)]** をクリックします。
[Print Preview (印刷プレビュー)] ウィンドウが開きます。
2. **[Save (保存)]** をクリックします。
[Save As (名前を付けて保存)] ダイアログが表示されます。
3. 任意のディレクトリを指定し、レポートに名前を付けます。
確認のメッセージが表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。
選択した場所にレポートが保存されます。

Quick Print (クイック印刷)

1. **[Patients (患者)]** タブで、印刷する **[Patients (患者)]** 記録をクリックします。

2. **【Quick Print (クイック印刷)】** をクリックし、その患者に対して実施されたすべての検査を印刷します。
3. 選択した検査結果を印刷するには、患者の結果リストで印刷する検査を選択します。
4. **【Quick Print (クイック印刷)】** をクリックし、選択した検査をデフォルトのプリンターで印刷します。

患者のすべての検査結果を確認し印刷する

印刷機能を使用して、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** ウィンドウから、保存済みのすべての患者記録を印刷します。

1. **【Patients (患者)】** タブをクリックして、患者名を選択します。
患者の検査結果が **【Result (結果)】** ウィンドウに表示されます。
2. **【Print (印刷)】** セクションの **【Home (ホーム)】** タブで、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** をクリックします。
【Print Preview (印刷プレビュー)】 タブが開きます。
3. レポートを確認します。データに問題がなければ、以下のオプションのうちいずれかを選択します。
 - **【Print (印刷)】** をクリックして、**【Print (印刷)】** ダイアログでプリンターを選択し、印刷部数を調整し、必要に応じてその他の印刷オプションを変更します。選択を終えたら、**【Print (印刷)】** をクリックします。
 - ただちにデフォルトのプリンターで印刷する（デフォルトの設定を変更しない）場合は、**【Quick Print (クイック印刷)】** をクリックします。印刷ジョブがデータマネージャーから選択したプリンターに送信されます。

患者の選択した検査レポートを確認し、注釈を付け、印刷する

メモおよび印刷の機能を使用して、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** ウィンドウから、保存済みの患者記録のサブセットに注釈を付けて印刷します。

1. **【Patients (患者)】** タブをクリックして、患者名を選択します。
患者の検査結果が **【Result (結果)】** ウィンドウに表示されます。
2. **【Result (結果)】** ペインで、確認または注釈付けする検査結果を選択し、**【Notes (メモ)】** 列にある小文字の「a」のアイコンをクリックします。
【Note (メモ)】 ウィンドウが開きます。
3. メモを入力し、**【OK】** をクリックします。
【Note (メモ)】 ウィンドウが閉じると、小文字の「a」が大文字の「A」に変わります。
4. 注釈を付けるすべての検査結果について、手順 2 および 3 を繰り返します。
入力したメモはすべて印刷レポートに表示されます。
5. 印刷する検査結果を選択します。複数の記録を選択するには、Ctrl キーを押しながらそれぞれの記録を選択します。
6. **【Print (印刷)】** セクションの **【Home (ホーム)】** タブで、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** をクリックします。
【Print Preview (印刷プレビュー)】 ウィンドウが開きます。

7. レポートを確認します。データに問題がなければ、以下のオプションのうちいずれかを選択します。
 - **【Print (印刷)】** をクリックして、**【Print (印刷)】** ダイアログでプリンターを選択し、印刷部数を調整し、必要に応じてその他の印刷オプションを変更します。選択を終えたら、**【Print (印刷)】** をクリックします。
 - ただちにデフォルトのプリンターで印刷する（デフォルトの設定を変更しない）場合は、**【Quick Print (クイック印刷)】** をクリックします。
- 印刷ジョブがデータマネージャーから選択したプリンターに送信されます。

文書の拡大／縮小

拡大／縮小機能を使用すると、印刷出力をデフォルトサイズの倍率に引き伸ばしたり縮めたりすることができます。

1. **【Patients (患者)】** タブをクリックして、患者名を選択します。
患者の検査結果が **【Result (結果)】** ウィンドウに表示されます。
2. **【Print (印刷)】** セクションの **【Home (ホーム)】** タブで、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** をクリックします。
【Print Preview (印刷プレビュー)】 ウィンドウが開きます。
3. **【Page Setup (ページ設定)】** セクションで、**【Scale (拡大／縮小)】** をクリックします。
 - 倍率を指定して拡大／縮小するには、**【Adjust to (倍率)】** を選択し、目的の倍率を入力して、**【OK】** をクリックします。
 - ページ幅を基準に拡大／縮小するには、**【Fit to (ページ幅)】** を選択し、目的のページ幅を入力して **【OK】** をクリックします。

拡大／縮小された出力が画面に表示されます。

4. 拡大／縮小された出力を確認し、必要に応じて調整します。データが目的の状態に拡大／縮小されたら、以下のオプションのうちいずれかを選択します。
 - **【Print (印刷)】** をクリックして、**【Print (印刷)】** ダイアログでプリンターを選択し、印刷部数を調整し、必要に応じてその他の印刷オプションを変更します。選択を終えたら、**【Print (印刷)】** をクリックします。
 - ただちにデフォルトのプリンターで印刷する（デフォルトの設定を変更しない）場合は、**【Quick Print (クイック印刷)】** をクリックします。

印刷ジョブがデータマネージャーから選択したプリンターに送信されます。

印刷の用紙サイズを選択する

サイズ機能を使用して、検査レポートの印刷に使用する用紙サイズを選択します。

1. **【Patients (患者)】** タブをクリックして、患者名を選択します。
患者の検査結果が **【Result (結果)】** ウィンドウに表示されます。
2. **【Print (印刷)】** セクションの **【Home (ホーム)】** タブで、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** をクリックします。
【Print Preview (印刷プレビュー)】 ウィンドウが開きます。
3. **【Page Setup (ページ設定)】** セクションで、**【Size (サイズ)】** をクリックし、検査レポートの印刷に使用する用紙サイズを選択します。

4. 出力／ページのサイズを確認し、必要に応じて調整します。データおよびページサイズが目的の状態に設定されたら、以下のオプションのうちいずれかを選択します。
 - **【Print (印刷)】** をクリックして、**【Print (印刷)】** ダイアログでプリンターを選択し、印刷部数を調整し、必要に応じてその他の印刷オプションを変更します。選択を終えたら、**【Print (印刷)】** をクリックします。
 - ただちにデフォルトのプリンターで印刷する（デフォルトの設定を変更しない）場合は、**【Quick Print (クイック印刷)】** をクリックします。
- 印刷ジョブがデータマネージャーから選択したプリンターに送信されます。

ズーム機能を使用する

ズームコントロールを使用すると、画面上の検査レポートの表示を拡大、縮小、および操作できます。

1. **【Patients (患者)】** タブをクリックして、患者名を選択します。
患者の検査結果が**【Result (結果)】** ウィンドウに表示されます。
2. **【Print (印刷)】** セクションの**【Home (ホーム)】** タブで、**【Print Preview (印刷プレビュー)】** をクリックします。
【Print Preview (印刷プレビュー)】 ウィンドウが開きます。
3. **【Zoom (ズーム)】** セクションで、以下のオプションを選択して検査結果の表示を調整します。
 - レポートを縮小するには...
 - レポートが目的のサイズになるまで、**【Zoom Out (ズームアウト)】** をクリックします。
 - **【Zoom (ズーム)】** をクリックして、目的のページビューを選択するか、任意の倍率を選択します。
 - レポートを拡大するには...
 - レポートが目的のサイズになるまで、**【Zoom In (ズームイン)】** をクリックします。
 - **【Zoom (ズーム)】** をクリックして、目的のページビューを選択するか、任意の倍率を選択します。
 - 100% 表示とページ全体表示を切り替えるには...
 - 拡大鏡ツールをクリックします。検査レポートにマウスポインターを乗せると、マウスポインターが拡大鏡に変わります。
 - レポート上で拡大鏡を1回クリックすると、ページ全体表示になります。
 - レポート上で拡大鏡をもう1回クリックすると、100% 表示になります。
 - 手動でページをスクロールするには..
 - ハンドツールをクリックします。検査レポートにマウスポインターを乗せると、マウスポインターが手の形に変わります。
 - このハンドツールをレポート上でクリックして押さえたまま（開いた手が拳の形に変わります）、ページビューを上下にドラッグします。
 - マウスポインターを元に戻すには、矢印の上でクリックします。

検査結果を電子形式でエクスポートする

エクスポート機能を使用すると、検査レポートを任意のデジタル形式で保存できます。

1. **[Patients (患者)]** タブをクリックして、患者名を選択します。
患者の検査結果が **[Result (結果)]** ウィンドウに表示されます。
2. **[Print (印刷)]** セクションの **[Home (ホーム)]** タブで、**[Print Preview (印刷プレビュー)]** をクリックします。
[Print Preview (印刷プレビュー)] ウィンドウが開きます。
3. **[Export (エクスポート)]** セクションで、**[Export To (エクスポート先)]** をクリックして、エクスポート形式 (**[PDF File (PDF ファイル)]**)、**[RTF File (RTF ファイル)]**)、または **[Image File (画像ファイル)]**) を選択します。
注 これらのオプションを選択すると、フォーマットとエクスポートの追加オプションが表示されたダイアログが開きます。
4. ダイアログで具体的なエクスポートオプションの選択を終えたら、**[OK]** をクリックします。
[Save As (名前を付けて保存)] ダイアログが表示されます。
5. 任意のディレクトリを指定し、レポートに名前を付けます。
確認のメッセージが表示されます。
6. **[OK]** をクリックします。
選択した場所にレポートが保存されます。

表示のカスタマイズ

データマネージャーをインストールすると、列やデータウィンドウはご使用のコンピューター画面の解像度に適合するよう自動的に調整されます。**[Patient (患者)]** ペインのデータ列のほか、**[Result (結果)]** ペインや **[Equipment (機器)]** ペインのデータ列も、追加、削除、移動してデータマネージャーの表示をカスタマイズすることができます。追加できる列は、個々のウィンドウやペインによって異なります。

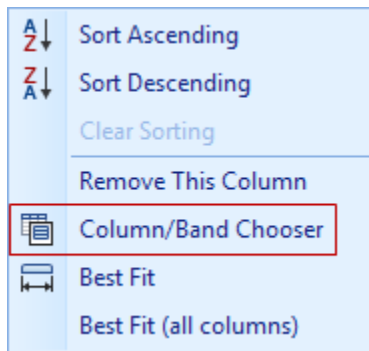
また、**[Patient (患者)]** ペインのほか **[Result (結果)]** ペインや **[Equipment (機器)]** ペインも、サイズ変更が可能です。データマネージャーの表示に対する最新のカスタマイズ内容は、次回データマネージャーを起動した時にも維持されます。

列の移動

列ヘッダーをクリックして、目的の位置にドラッグします。

列の追加

1. ヘッダー列を右クリックして、**[Column/Band Chooser (列／バンド選択ツール)]** を選択します。



[Customization (カスタマイズ)] ウィンドウが表示されます。

2. [Customization (カスタマイズ)] ウィンドウで追加するデータ列をダブルクリックするか、その列を [Patients (患者)] タブまたは [Result (結果)] セクションの目的の位置までドラッグします。
3. ウィンドウ左下の「x」をクリックして、[Customization (カスタマイズ)] ウィンドウを閉じます。

メインウィンドウに新しい列が表示されます。複数のデータ列を追加すると、メインウィンドウの表示が変わります。

列の削除

列を削除するには、2 種類の方法があります。

1. 削除する列のヘッダーを右クリックして、[Remove This Column (この列を削除)] を選択します。
2. 削除する列のヘッダーを右クリックして、その列を [Column/Band Chooser (列／バンド選択ツール)] までドラッグします。

ウィンドウのサイズ変更

ウィンドウの濃い青色の境界線をクリックして、目的の位置までドラッグします。

ウィンドウサイズが小さすぎる場合、[Value Graph (値グラフ)] のキー (SNR、Emission (放射)、Noise Floor (ノイズフロア) の各記号) がデータ内に移動します。

セクションの削除

場合によっては、複数のフィールドを含むセクション全体 (バンド) の削除が必要になることがあります (例: [Equipment (機器)] バンドなど)。

バンドのタイトルを右クリックして、[Customization (カスタマイズ)] ウィンドウの [Bands (バンド)] タブまでドラッグします。

Auto Print

Auto Print のユーザーインターフェース

Auto Print は PC ベースの印刷ツールで、これを使用すると Data Manager のデータ管理機能は使用せず、OAE 検査結果の印刷のみを実行できます。Auto Print は Data Manager の代わりとして使用するよう設計されています。Auto Print ソフトウェアをインストールし、目的のプリンターのタイプおよび設定を選択すると、ソフトウェアは PC 上で開いたままになります。Auto Print は継続的に USB ポートをスキャンするため、PC にスクリーナーを接続すると、それが PC で自動検出され、スクリーナーから報告のためデータが転送されて、レポートが指定のプリンターで印刷されます。

注 完全なデータベース機能または詳細なレポート機能（病歴や照会医師など）を使用する必要がある場合は、Data Manager をインストールしてください。

注 Auto Print をセットアップする前に、PC に任意のプリンターをインストールしておく必要があります。PDF およびデフォルトのプリンターによるレポートは、Data Manager で生成されるレポートと同様です。

ウィンドウ上部のリボンバーには 2 つのタブがあります。

- Home（ホーム）
- Settings（設定）

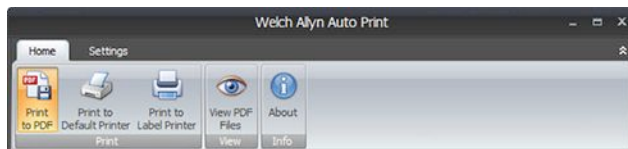
[Home（ホーム）] タブ

[Home（ホーム）] タブでは、スクリーナーレポートの印刷に使用する任意のプリンターのタイプを選択できるほか、PDF や Auto Print 情報の表示も制御できます。

[Home（ホーム）] タブでのプリンターのタイプ選択は、[Settings（設定）] タブのオプションにも影響を与えます。たとえば、PDF 関連のオプションは [Print to PDF（PDF に出力）] を選択した場合にしか表示されません。

Auto Print では、まず最初にスクリーナーレポートの印刷に使用するプリンターのタイプを選択します。この選択によって、使用可能なすべての印刷設定が変わってきます。選択するプリンターは、Auto Print をセットアップする前に PC にインストールされていなければなりません。

[ホーム] タブには 3 つのセクションがあります。



- Print (印刷)
 - Print to PDF (PDF に出力) : PDF を Auto Print のデフォルトのプリンタータイプとして選択します。
 - Print to Default Printer (デフォルトのプリンターで印刷) : Auto Print で使用するインストール済みの PC プリンターを選択します。
 - Print to Label Printer (ラベルプリンターで印刷) : Auto Print で使用する PC ベースのラベルプリンターを選択します。
- View (表示)
 - View PDF Files (PDF ファイルの表示) : 出力された PDF レポートが保存される PDF エクスポートフォルダに簡単にアクセスできます。この選択肢は、[Print to PDF (PDF に出力)] を選択した場合のみ使用可能になります。
- Info (情報)
 - About (バージョン情報) : ソフトウェアのバージョン番号、PDF ファイルの場所 (該当する場合)、ログファイルの場所、および [About Boys Town Norms (Boys Town Normsについて)] へのアクセスボタンが表示されます。

[Settings (設定)] タブ

[Settings (設定)] タブでは、印刷結果に影響を与える各種設定の選択がサポートされています。たとえば、[Boys Town Norms] を選択すると、印刷された DPOAE 結果の値グラフに標準の影付き領域が表示されます。使用可能なすべての印刷設定は、[Home (ホーム)] タブで選択したプリンタータイプによって変わります。

[Settings (設定)] タブには以下のオプションがあります。



- Boys Town Norms : すべてのプリンタータイプで、標準的データが DPOAE Value Graph (DPOAE 値グラフ) スタイルで表示されます。テンプレートの作成に使用された値は、次の資料の表 A1 に示されています : Gorga, M.P., Neely, S.T., Ohlrich, B., Hoover, B., Redner, J. and Peters, J. (1997). "From laboratory to clinic: a large scale study of distortion product otoacoustic emissions in ears with normal hearing and ears with hearing loss." Ear & Hearing, 18, 440-455.
- Print One Test Per Page (1 ページに 1 つの検査を印刷) : これを選択すると、1 ページに 1 つの OAE 検査の結果のみが印刷されます。この設定は、[Print to Label Printer (ラベルプリンターで印刷)] を選択した場合はデフォルトでオンになります。
- Report Header and Logo (レポートヘッダーとロゴ) : PDF およびデフォルトのプリンターでは、施設の住所やロゴを各検査ページに印刷できます。この設定はラベルプリンターでは使用できません。

注 ヘッダーとロゴの情報を入力すると、この設定が有効になります。

- Add Patient Name（患者名を追加）：この設定では、印刷する検査数にかかわらず 1 つの患者名を入力できます。[Add Patient Name（患者名を追加）] はすべてのプリンタータイプに該当します。この設定は、[Print to PDF（PDF に出力）] を選択するとデフォルトでオンになります。
- Use Default PDF File Name（デフォルトの PDF ファイル名を使用）：これを選択すると、患者名（入力した場合）、スクリーナーのシリアル番号、および検査日時に基づいて、PDF ファイル名が自動的に生成されます。レポートは指定の PDF エクスポートフォルダに保存されます。これを選択しなかった場合は、結果を印刷するたびにディレクトリが表示され、PDF ファイル名とデフォルトのディレクトリを変更できます。
- PDF Export Folder（PDF エクスポートフォルダ）：出力された PDF レポートを保存する PC 上の場所を指定または変更できます。このオプションは、[Home（ホーム）] タブで [View PDF Files（PDF ファイルの表示）] を選択した場合、デフォルトで選択されています。
- Language（言語）：このオプションを使用して、ドロップダウンメニューから目的の言語を選択します。言語の変更は Auto Print を一度閉じてから再起動すると有効になります。一部のテキストは英語のみで表示されます。

注 一部の設定は、選択したプリンターによってはデフォルトでオンになります。たとえば、[Print to Label Printer（ラベルプリンターで印刷）] を選択した場合、[Print One Test Per Page（1 ページに 1 つの検査を印刷）] はデフォルトでオンになります。

Save 250（250 件保存）と L/R モード

Auto Print では、すべての印刷レポートに対して 1 つの患者名を入力できます。スクリーナーが L/R Mode（L/R モード）に設定されている場合、入力した患者名は、検査された患者に対応します。スクリーナーが [Save 250（250 件保存）] に設定されている場合、患者名を入力すると、すべての印刷レポートに同じ患者名が使用されます。1 名の患者について実施されたすべての検査を印刷する必要がある場合は（最新の左耳検査および最新の右耳検査ではなく）、スクリーナーを [SAVE 250（250 件保存）] に設定することをお勧めします。[Add Patient Name（患者名を追加）] は、名前の追加を求められたときに [OK] をクリックすれば、設定をスキップできます。

プリンターのセットアップ

初めて Auto Print を使用する際は、事前にターゲットプリンターを PC にインストールしておく必要があります。[Print to PDF（PDF に出力）] オプションを使用するには、PDF リーダーをインストールする必要があります。

注 プリンターは有線ネットワークまたはローカル接続を通じて PC に接続しておく必要があります。Auto Print では、ワイヤレス接続による印刷は実行できません。

Auto Print の使用

一般的なユースケース — Auto Print の PDF レポート

ここで説明するユースケースでは、まず Auto Print をセットアップし、OAE Hearing Screener を L/R モードに設定しておく必要があります。このセクション後半の説明、お

よび OAE Hearing Screener 使用説明書の説明を参照して、必ず Auto Print が正しく機能していることを確認してください。

1. 患者の左右の耳の OAE 検査を実施します。
2. スクリーナーを PC に接続します。
3. 入力画面が表示されたら、レポートの患者名を入力して **[OK]** をクリックします。PDF レポートが自動的に PDF エクスポートフォルダに出力されます。
4. **[Home (ホーム)] タブ > [View PDF Files (PDF ファイルの表示)]** に移動すると、電子レポートを表示できます。
5. レポートを患者の電子医療記録に添付します。

このセクションで個々のユースケースに該当する手順を参照し、説明に従ってください。

PDF に出力する

1. Auto Print ソフトウェアを起動します。
2. **[Home (ホーム)] タブ**で、**[Print to PDF (PDF に出力)]** を選択します。
3. **[Settings (設定)] タブ**で、**[PDF Export Folder (PDF エクスポートフォルダ)]** を選択し、PDF レポートを出力する PC 上の指定の場所を入力します。

注 この操作は、Auto Print を初めてセットアップする際、または PC 上の場所を変更する際に必要になります。

4. **[Settings (設定)] タブ**で、**[Boys Town Norms]**、**[Print One Test Per Page (1 ページに 1 つの検査を印刷)]**、または **[Use Default PDF File Name (デフォルトの PDF ファイル名を使用)]** について、目的のレポート設定を選択します。**[Add Patient Name (患者名を追加)]** はデフォルトでオンになっています。
5. 必要に応じて、**[Report Header and Logo (レポートヘッダーとロゴ)]** を選択して入力します。
6. 選択を終えたら、Auto Print ウィンドウの表示を最小化して、検査の印刷を実行します。
7. スクリーナーの電源を入れ、メモリに少なくとも 1 つの検査が保存されていることを確認します。
8. スクリーナーを PC に直接、またはクレードルを介して接続します。

Auto Print で自動的にスクリーナーが検出されます。接続のためにその他の操作は必要ありません。

注 接続すると、スクリーナーに「Waiting on PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。

検査の転送確認ウィンドウが一時的に表示され、5 秒後に最小化されます。このウィンドウを閉じる必要はありません。

9. 入力を求める画面が表示されたら、レポートに表示する **[Patient Name (患者名)]** を入力するか、患者名を印刷しない場合は **[OK]** をクリックします。

印刷を確認する 2 番目のウィンドウが表示されます。Auto Print では、装置に保存されているすべての検査が印刷されます。

10. PDF レポートを確認するには、**[Home (ホーム)] タブ > [View PDF Files (PDF ファイルの表示)]** を選択します。
11. 出力されたレポートを確認し、必要に応じてレポート設定を変更します。

デフォルトのプリンター設定で印刷する

1. Auto Print ソフトウェアを起動します。

2. [Home (ホーム)] タブで、[Print to Default Printer (デフォルトのプリンターで印刷)] を選択します。
3. [Settings (設定)] タブで、[Boys Town Norms]、[Print One Test Per Page (1 ページに 1 つの検査を印刷)]、および [Add Patient Name (患者名を追加)] について、目的のレポート設定を選択します。
4. 必要に応じて、レポートヘッダーとロゴを選択して入力します。
5. 選択を終えたら、Auto Print ウィンドウの表示を最小化して、検査の印刷を実行します。

デフォルトのプリンターで印刷する

1. スクリーナーの電源を入れ、メモリに少なくとも 1 つの検査が保存されていることを確認します。
2. スクリーナーを PC に直接、またはクレードルを介して接続します。

Auto Print で自動的にスクリーナーが検出されます。接続のためにその他の操作は必要ありません。

注 接続すると、スクリーナーに「Waiting on PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。

検査の転送確認ウィンドウが一時的に表示され、5 秒後に最小化されます。このウィンドウを閉じる必要はありません。

3. 入力を求める画面が表示されたら、レポートに表示する [Patient Name (患者名)] を入力するか、患者名を印刷しない場合は [OK] をクリックします。

印刷を確認する 2 番目のウィンドウが表示されます。Auto Print では、装置に保存されているすべての検査が印刷されます。

4. 出力されたレポートを確認し、必要に応じてレポート設定を変更します。

一般的なユースケース — Auto Print によるラベルプリンターでの印刷

スクリーナーの検査結果は、ラベルに印刷して患者のチャートに貼り付けることができます。

1. 患者の左右の耳の OAE 検査を実施します。
2. スクリーナーを PC に接続します。
3. 入力画面が表示されたら、レポートの患者名を入力して [OK] をクリックします。右耳および左耳の検査結果が、それぞれ別のラベルに印刷されます。
4. [Home (ホーム)] タブ > [View PDF Files (PDF ファイルの表示)] に移動すると、電子レポートを表示できます。
5. ラベルを患者のチャートに貼り付けます。

このセクションで個々のユースケースに該当する手順を参照し、説明に従ってください。

ラベルプリンター設定で印刷する

1. Auto Print ソフトウェアを起動します。
2. [Home (ホーム)] タブで、[Print to Label Printer (ラベルプリンターで印刷)] を選択します。
3. プリンターのドロップダウンメニューからラベルプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

4. [Settings (設定)] タブで、[Boys Town Norms] または [Add Patient Name (患者名を追加)] について、目的のレポート設定を選択します。

注 [Boys Town Norms] では、スクリーナーの表示が [Value Graph (値グラフ)] に設定されている場合、DPOAE の結果が印刷されます。

5. 選択を終えたら、Auto Print ウィンドウの表示を最小化して、検査の印刷を実行します。

ラベルプリンターで印刷する

1. スクリーナーの電源を入れ、メモリに少なくとも 1 つの検査が保存されていることを確認します。
2. スクリーナーを PC に直接、またはクレードルを介して接続します。

Auto Print で自動的にスクリーナーが検出されます。接続のためにその他の操作は必要ありません。

注 接続すると、スクリーナーに「Waiting on PC (PC を待機しています)」というメッセージが表示されます。

検査の転送確認ウィンドウが一時的に表示され、5 秒後に最小化されます。このウィンドウを閉じる必要はありません。

3. 入力を求める画面が表示されたら、ラベルに表示する [Patient Name (患者名)] を入力するか、患者名を印刷しない場合は [OK] をクリックします。

印刷を確認する 2 番目のウィンドウが表示されます。Auto Print では、装置に保存されているすべての検査が印刷されます。

注 ラベルの印刷出力はスクリーナーの表示と一致します。スクリーナーが [SNR Graph (SNR グラフ)] に設定されている場合は、ラベルに SNR 棒グラフが印刷されます。スクリーナーが [Value Graph (値グラフ)] に設定されている場合は、ラベルに値グラフが印刷されます。

注 印刷済みの検査結果はすべて、スクリーナー上で削除のマークが付けられますが、新しい検査を開始するまではメモリに保存されたままになります。新しい検査を開始した時点で、メモリ内のすべての検査が消去されます。検査をメモリに保存することで、印刷が失敗した場合に検査を再印刷することができます（印刷が完了する前に用紙切れが発生した場合など）。

